

授業	『まるごと』を子供向けにアレンジした授業		
対象 (数)	小学生 10 名 (10 歳)	授業時間	45 分
目標	食べ物の名前を理解し、自分の好きな食べ物について話せるようになる。 「N が好きです」「N が好きじゃないです」(「N を食べます」「N を飲みます」)		
評価方法	『まるごと』の Can-do システムを採用 (ただし小学生用にアレンジ)		
時間	No.	活動項目	留意点
5 分	1	ウォーミングアップ	<p>※ひらがな・カタカナの復習</p> <p>準備：学習者が「好き」と連想できるものを用意 (例：スマイリー、ハートなど)</p>
12 分	2	新出語彙	<p>※新出語彙は最大 10 個</p> <p>※単語は『まるごと』から重要なものを選ぶ</p> <p>※別のシートで追加の語彙リストを渡す (授業内ですべてを扱うことができないため、学習者から質問がありそうなものをピックアップ)</p>
3 分	3	文型練習	<p>※「N が好きじゃないです」も導入できるように絵カード(「好きじゃないです」)を用意</p>

4分	4	体を動かそう！ (Физкультминутка)	<p>①料理に関係のある言葉を使って、体を動かしながら、体操。</p> <p>野菜を切ります。 肉を焼きます。 スープを混ぜます。 いただきます。 ご飯をたべます。 水を飲みます。 ごちそうさまでした。</p> <p>②二人ペアになり、お互いの背中に好きな食べ物の名前を日本語書いて、推測しあう。</p> <p>※①～②を2回繰り返す。</p>	<p>※体を使った動き</p> <p>※音楽は学習者が楽しくなるための雰囲気づくり</p> <p>音楽：むすんでひらいて</p>
5分	5	新出語彙（記入）	黒板に出てきた単語をノートに書かせる。	※ひらがな、カタカナの復習を兼ねて
5分	6	アクティビティ	<p>箸の使い方とマナーを説明し、あずき移しゲーム（学習者によって、あずき以外を選ぶのも可）。</p> <p>マナー： ①箸を食べ物に立ててはいけない。 ②箸同士で食べ物を渡してはいけない。 ③箸を遊びの道具にしてはいけない。</p> <p>ゲーム： ①学習者をグループに分ける。 ②1人ずつあずきを皿か皿に5粒ずつ移す。 ③一番初めに全員が移しかえたグループが優勝。</p>	準備：あずき、深皿、箸
11分	7	まとめ・宿題	エリンが挑戦のサイトへ行って、自分のお弁当を作ってもらい、印刷してくる。	※学習者自主的に宿題を行えるもの。